こんにちは!チャレンジデー本部です。

今回のメールニュースは【報道機関向け:チャレンジデー2022 記者説明会 5月17日(火)開催】です。

【チャレンジデー2022 記者説明会 5月17日(火)開催】

チャレンジデーは 2022 年で 30 周年を迎え、延べ参加人数 3,700 万人超となりました。

つきましては、チャレンジデー2022 記者説明会を開催いたします。

記者説明会では、これまでの歩みやまちづくりの事例、2022 年の目玉プログラムを紹介いたします。

実施自治体の地元報道機関等からのご参加も受け付けておりますので、

日頃からお付き合いのある担当記者の皆さまへ、本内容をご案内いただけますと幸いです。

【チャレンジデー2022 記者説明会 詳細】

【日 時】 2022 年 5 月 17 日(火) 14:00 ~ 15:00 ※申込締切:2022 年 5 月 13 日(金) 17:00

【形 式】 ①オンライン(Zoom 予定) ②笹川スポーツ財団(日本財団ビル 3 階) ※13:50 より入室・来場可能です

【参加対象】報道機関関係者

【申 込】 info@ssf.or.jp 宛、またはチャレンジデー担当(cday@ssf.or.jp)にご連絡ください。 ご参加いただいた皆様には、「チャレンジデーT シャツ|をプレゼントいたします!

【内容】

・チャレンジデーの歴史、意義

1983 年にカナダで始まり、1993 年に SSF が事務局として日本で普及活動に努めました。 今年で 30 周年を迎えます。これまでに約 2,200 自治体(地域含む)、約 3,700 万人が参加 した日本最大規模のスポーツイベントとなりました。※自治体数、参加人数は延べ。SSF 調べ。

・チャレンジデーの効果、付加価値

日常的な運動・スポーツのきっかけづくりを主たる目的にしていますが、30 年の積み重ねの結果、対戦をきっかけに「災害時における相互応援に関する協定」が締結されるなど、チャレンジデーの付加価値も報告されています。

・2022 年のコロナ禍での取り組み

ミズノ株式会社協力のもと、コロナ禍でも安心して行える動画プログラム「アスリートと一緒にうちチャレ」(出演はサッカー元日本代表の加地 亮氏、柔道元日本代表の谷本 歩実氏)、自治体間投票で決定した共通イベントを実施します。

【出席者】 清水 恵美、佐藤 渉、小淵 和也(いずれも SSF チャレンジデー担当)

説明会の詳細はプレスリリースがございますので、以下広報担当までご連絡いただけますようご案内ください。

【報道機関からの問い合わせ先】

笹川スポーツ財団 広報担当:清水・竹下・齊藤

TEL: 03-6229-5300 MAIL: info@ssf.or.jp

スポーツ政策データバンクに関して、不明点ございましたら、

チャレンジデー担当 (cday@ssf.or.jp) までお気軽にご連絡ください。

※自治体により担当者連絡先が異なりますのでご注意ください。

●下記自治体の皆さま

北海道/青森県/岩手県/宮城県/秋田県

<担当>

070-2470-2977(上川原)

繋がらない場合は、070-2470-2965(清水)

●下記自治体の皆さま

山形県/福島県/茨城県/群馬県/神奈川県/山梨県/富山県 長野県/岐阜県/愛知県/京都府/和歌山県/島根県 岡山県/広島県/山口県/徳島県/香川県/福岡県/佐賀県 長崎県/熊本県/宮崎県/鹿児島県

<担当>

070-2470-2969(山下)

繋がらない場合は、070-2470-2963(佐藤)

またメールでのお問い合わせは引き続き、cday@ssf.or.jp へお願いいたします。 ご確認どうぞよろしくお願いいたします。

~SSF では、チャレンジデーを通して、実施自治体とのパートナーシップを促進し、「スポーツ・フォー・エブリワン| 社会の実現を目指します~

笹川スポーツ財団 チャレンジデー本部

清水/佐藤/山下/上川原/小淵

※本メールへの返信はできませんので、チャレンジデー本部へのメールは cday@ssf.or.jp へお願いいたします。

https://www.ssf.or.jp/dotank/challengeday/index.html

笹川スポーツ財団公式 facebook もご覧ください。

http://www.facebook.com/ssf.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 3 階

Email: cday@ssf.or.jp HP: http://www.ssf.or.jp